

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								2.8
1 音環境		2.2	0.15	2.6	1.00			2.3
1.1 騒音		2.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.2	0.40	3.1	0.40			
1 開口部遮音性能	遮音性能等級T-2の建具を採用	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	2.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		1.7	0.35	3.2	1.00			2.2
2.1 室温制御		2.5	0.50	3.4	0.50			
1 室温		2.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能	窓SC=0.48U=4.17外壁U=0.594屋根U=0.803であり、良好な断熱・日射遮蔽性能を確保	4.0	0.25	4.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		2.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	3.3	1.00			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	ラウンジ交流スペース2.584%、医務室4.048%、居室4.289%	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御	カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	3.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	1.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策			-		-			
4.2 換気		2.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	居室床面積の1/10以上		-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視			-		-			
2 喫煙の制御	建物内全体を禁煙とし喫煙所は建物内部に設置しない	5.0	1.00		-			
Q2 サービス性能								3.1
1 機能性		2.6	0.40	3.8	1.00			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室12.16㎡/床以上、多床室12.60㎡/床以上		-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画	コンセプトに合わせエリアごとに材料色彩を計画、インテリアハースを作成し事前検討済み	4.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	内壁・床に防汚性建材を採用、風除室扉どうしが同時感知しない様十分な距離を確保、外部金属部材は亜鉛メッキ処理	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務			-		-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30		-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管VLP(B)汚水排水管VP(B)雑排水管VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.4	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水器具を過半以上に採用、配管の系統を区分、井水利用を計画	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	光ケーブル・タルケーブルと通信手段を多様化、通信精密機器を地上階に設置	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.2	0.30	3.2	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				3.4	0.30	3.4	0.50	
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率1階0.27、居室0.23	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラック、EPSの設置、保護管による配線	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	ケーブルラック、EPSの設置、保護管による配線	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.9	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI _m 非住宅 0.81 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.81、LED照明・潜熱回収型給湯器の採用	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生加熱アスファルト化合物:路盤材、屋外用品(エクステリア):再生木デッキ	4.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用、PS+天井内配管により設備との錯綜を回避	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=84%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの一部を満たし、広告物照明がない	4.0	0.70	-	-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	